

当世 黒埼町 若者 気質

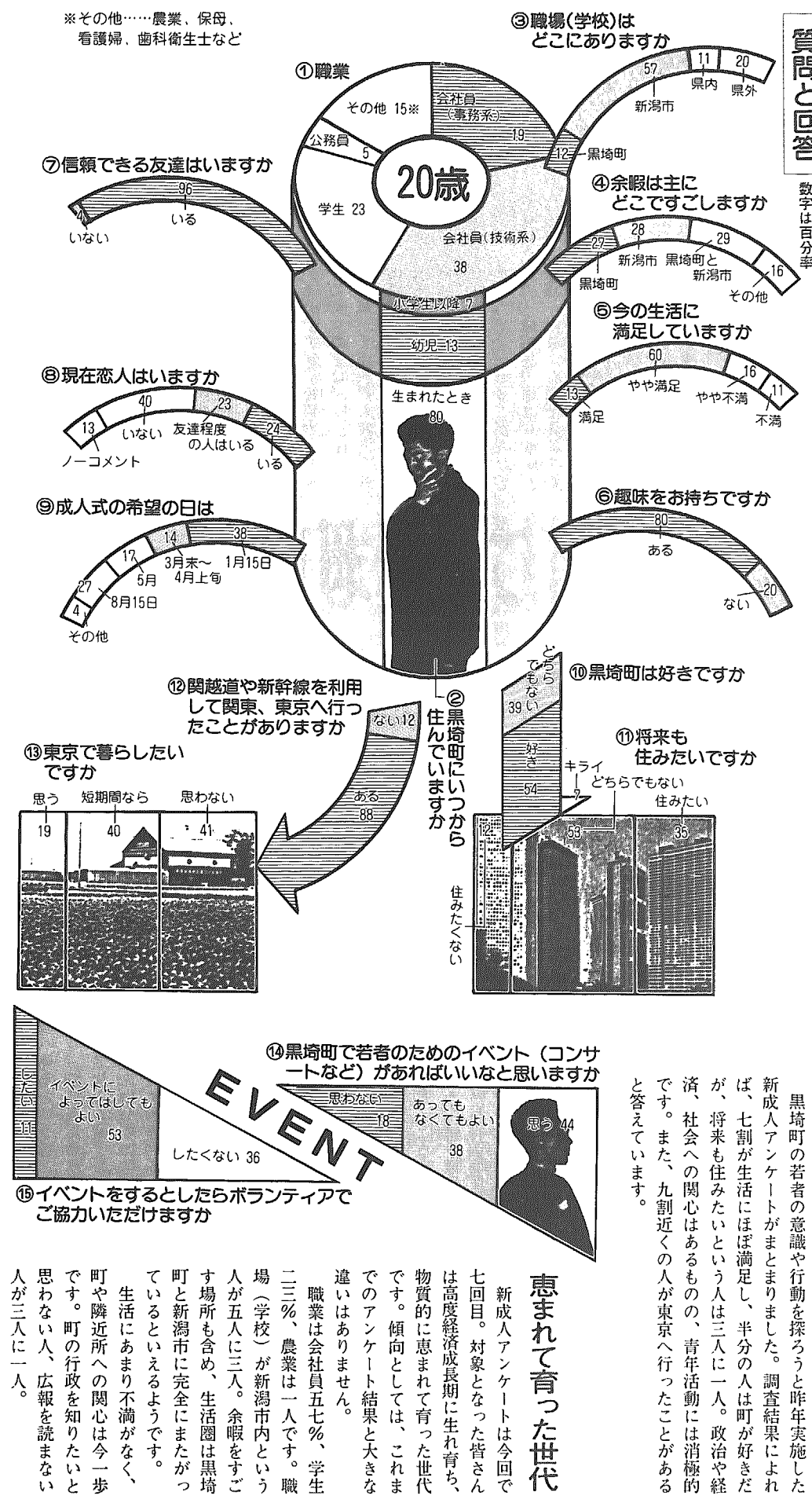
新成人76人に聴く

若者に魅力ある町 アンケート

生活にほぼ満足、町への関心は今一歩

質問と回答

数字は百分率



調査の概要

①調査期間 / 昭和63年8月15日
 ②調査対象 / 昭和63年成人式該当者(昭和42年4月2日から昭和43年4月1日までに生まれた20歳と21歳の黒埼町在住の若者。注: 帰省中の人も含まれます)
 ③調査方法 / 成人式の当日、受付でアンケート用紙を渡し、会場から帰るまでの間に受付へ提出していただきました。
 ④回答率 / 対象者314人(男147人、女167人)中成人式出席者は181人で76人が回答。回答率は24.2%。

二十歳なら知ってほしい国民年金や選挙については、十人に三人は選挙では投票しようと思っていない、国民年金については五人に二人が知りません。献血は三四%の人がしたことがあります、したくないという人が三六%。また、社会に対する関心は低くはありませんが、地域や青年活動に対する関心は低いようです。

いなかだが豊かな町

黒埼町に対するイメージとしては「いなかであり文化的でないが、豊かで温かい」ととられています。町の将来は「田園風景に富み、生活環境が整備された住宅中心の町、文化の町」を望んでいます。

黒埼町の若者の意識や行動を探ろうと昨年実施した新成人アンケートがまとまりました。調査結果によれば、七割が生活にほぼ満足し、半分の人は町が好きだが、将来も住みたいという人は三人に一人。政治や経済、社会への関心はあるものの、青年活動には消極的です。また、九割近くの人が東京へ行ったことがあると答えています。

恵まれて育った世代

新成人アンケートは今回で七回目。対象となった皆さんは高度経済成長期に生れ育ち、物質的に恵まれて育った世代です。傾向としては、これまでのアンケート結果と大きな違いはありません。職業は会社員五七%、学生二三%、農業は一人です。職場(学校)が新潟市内という人が五人に三人。余暇を過ごす場所も含め、生活圏は黒埼町と新潟市に完全にまたがっているといえるようです。生活にあまり不満がなく、町や近所への関心は今一歩です。町の行政を知りたいと思わない人、広報を読まない人が三人に一人。

⑭持っているもの(%)

自動車	58
ステレオ	59
ビデオ	58
テニスラケット	28
バイク	41
パソコン	9

⑮公共施設の中で利用したことがあるもの(%)

総合体育館	75
テニスコート	28
町立図書館	25
北部地区公民館	11
木場野球場	18
常民文化史料館	5
信濃川河川敷公園	14
県立自然科学館	25
新潟市青年の家	7
新潟市立美術館	13

⑯知っているもの(聞いたことがあるもの)(%)

山際七司 ①	9	ヘーゲル ⑱	18
デュカキス ②	22	えんどコイチ ⑳	30
ビッグ・バン ③	37	チェルノブイリ ㉑	62
手塚治虫 ④	75	ノルウェイの森 ㉒	45
四全総 ⑤	8	シネ・ウィンド ㉓	57
マーラー ⑥	30	シーマ ㉔	42
サイバーパンク ⑦	1	ヤッピー ㉕	47
シーレーン ⑧	18	総評 ㉖	32
ジョン・レノン ⑨	61	新井満 ㉗	13
新潟外環状線 ⑩	12	黒鳥兵衛 ㉘	12
竹下登 ⑪	53	ラスパレス ㉙	1
全斗煥 ⑫	33	第三セクター ㉚	20
超伝導 ⑬	38	NETS ㉛	18
アパートヘイト ⑭	38	消費税 ㉜	47
堀口大学 ⑮	37	リクルート・コスモス ㉝	46
創庫美術館「点」 ⑯	4	広瀬隆 ㉞	7
宗村宗二 ⑰	46	新潟県観光物産センター ㉟	33

問の説明 ①木場出身の政治家②アメリカ大統領候補③宇宙創成の大爆発④漫画家⑤第四次全国総合開発計画⑥作曲家⑦SFの分野⑧海上交通路⑨暗殺された音楽家⑩黒埼から新潟市一日市までを結ぶ計画中の道路⑪現在の内閣総理大臣⑫元韓国大統領⑬電気抵抗がなくなる現象⑭人種差別政策⑮詩人(黒中校歌の作者)⑯新潟市姥ヶ山にある美術館⑰黒埼出身の五輪金メダリスト⑱哲学者⑲白根市出身の漫画家⑳原爆事故の起きた連の地名㉑村上春樹の小説題名㉒新潟市民映画館㉓高級乗用車㉔都部の専門職を持つ若者㉕日本労働組合総評議会㉖新潟市出身の芥川賞作家の伝説の主人公㉗地方公務員の給与水準の指数㉘官民出資の事業方式㉙新潟のタウン誌①光質にかける税②会社名③山田建設予定